



「ただものではない印刷屋」

～ 印刷業界の挑戦 株式会社井上印刷 ～

三島市でパッケージ製造のほか、事務用品印刷を行っている株式会社井上印刷。今回は同社代表取締役の池田文美氏にお話しを伺った。

(聞き手：加藤慎平)

— 本日はお忙しいところありがとうございます。まず始めに御社の歴史について教えてください。当社は昭和49年に私の父が創業しました。昭和63年6月に法人化し、私が代母として社長をさせてもらっています。

— 池田社長が社長に就任されたのは平成30年11月ですね。御社でお仕事され始めてからは長いのですか？

— 長いですね。専門学校を卒業し、地元の新潟組合を経て入社して20年程が経過しました。

— 会長（前社長）はまだまだご健在で喜ばしいことですが、社長を交代するきっかけはどのようなものだったのですか？

— 会長が高齢になってきたことがきっかけです。後任はだれがいいかという話になったときに、私の夫も専務として勤務していたのですが、やはり直系の家系がいいのではないかとことになり、私が就任しました。

— 改めて御社の事業内容について教えてください。パッケージ、自販、ポスターなどのオフセット印刷や、伝票類などの事務用品印刷をメインに行っています。また、新しい取り組みとして、「抗菌印

刷」なども行っています。既存の事業を大切にしつつ、新しいものも取り入れながら、様々な分野で企業活動のお手伝いをさせていただいております。

— 業内の女性社長はまだ少ないですが、女性社長ならではの取り組みはありますか？

— 若いときにタッキングスクールに通っていたということもあり、自分でつくった弁当をフイナーに載せたりしています。仕事とは直接関係ないように思えますが、お弁当を入れる容器（ティニアウトBOX）を抗菌仕様にするなど工夫してPRしています。

— SNSも上手に活用しながらPRされているわけですね。

— やはり最初は会社を認知して頂くことが大切だと思います。「井上印刷」を後の中に知ってもらえるきっかけ作りになればいいと思っています。また、最近では高級感のある厚紙でパンフレットをつくり、それに抗菌加工をしてPRしています。

— ニスの中に抗菌剤を混ぜて、それを吹き付けるといったイメージですね。既存事業とは別に今後伸ばしていきたいのはそういった素材ですか？

— そうですね。「抗菌配達パッケージ」「抗菌和紙ファンクションマット」「抗菌バスル式抗菌マット」「抗菌名刺」「抗菌PCラケット」などのオリジナル商品がありますが、そうした抗菌グッズを開発することで、社会的な貢献ができればいいと思っています。

— 社会的責任というところにも今後注力されていきたいということですね。

— そうですね、やはり世の中に必要とされる企業が何かと考えたときに、その部分が一番重要だと考えています。企業としてどれだけ社会貢献ができるかを常に考えています。

— 最後に、今後の計画についてお聞かせください。

— 来年、2月に「感染対策展示会」に出展を予定しています。感染対策関連のオリジナル抗菌印刷を普及し、新しい生活様式に対応したものを作成していく意向です。

— また、日本は自然災害大国です。地震や豪雨による水害などの各地で甚大な被害を引き起こしています。そこで、長岡市が主催している「中越市民防災安全大学」に通い、地域や家庭で役立つ「防災」や「安全」に関する分野を受講してきました。その学びを生かし、地域の皆さまとの連携をより強固なものとし、災害に強い地域づくり、街づくりに貢献していきたいと思っています。

— 今後も、常にお客さまの「声」を聞き、社員一人一人の持っているアイデアや知識を集約した製品をお届けしたいと思っています。

— 次代の想いも継承しつつ、「温故知新」の気持ちで経営に取り組みしていきたいです。

＊「感染対策展示会」

期日：2021年2月4日（木）～5日（金）
10：00～16：00（受付終了後）
会場：新潟会場 NQCプラザ、NQCホール



代表取締役社長 池田 文美 氏

企業概要

商 号 株式会社井上印刷
(TDB企業コード：822000841)
法人番号：9110001015481
所在地 三島市今井223
創 業 1974年（昭和49年）5月
設 立 1980年（昭和53年）6月
代 表 池田 文美 氏
事業内容 印刷業
従業員 6名
年売上高 1億3000万円（2020年5月期）
URL：https://www.gncs.co.jp/~inoue/